



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 横浜冷凍株式会社

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部 部長 (氏名) 鈴木 大介

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日

TEL 045-210-0011

平成28年6月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	75,572	0.8	2,853	56.5	3,082	66.0	1,984	75.8
27年9月期第2四半期	74,983	10.0	1,823	△31.7	1,856	△29.9	1,129	△30.0

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 1,657百万円 (△36.3%) 27年9月期第2四半期 2,601百万円 (49.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	38.35	33.57
27年9月期第2四半期	21.82	19.10

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	128,471	63,466	48.7	1,208.48
27年9月期	118,901	62,322	51.6	1,185.23

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 62,546百万円 27年9月期 61,330百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年9月期	—	10.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	3.4	5,000	29.1	5,000	23.8	3,100	23.1	59.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期2Q	52,452,021 株	27年9月期	52,450,969 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年9月期2Q	695,667 株	27年9月期	705,288 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	51,749,618 株	27年9月期2Q	51,746,047 株
----------	--------------	----------	--------------

当第2四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式362,300株を自己株式に含めています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年10月1日～平成28年3月31日)におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気はゆるやかな回復基調で推移しました。しかしながら中国経済の減速や新興国をはじめとする世界経済の下振れリスクにより、今後の国内景気への影響が懸念されています。

また、当社グループに係わる食品関連業界では、原材料価格の高騰などに伴う価格改定により収益面の改善が進みましたが、個人消費については食料品や日用品の値上げなどの影響を受け、依然として足踏み状態が続いています。

このような状況のもと当社グループは、平成26年10月にスタートさせました第五次中期経営計画「Flap The Wings 2017」(3ヵ年)に基づき、冷蔵倉庫事業では「“COOL”ネットワークのリーディングカンパニー」を目指し、食品販売事業では「安定的な利益追求を基本としながらも、強みのある商材を全社的に展開する」ことを命題として、事業運営方針の各施策に注力しております。

冷蔵倉庫事業は、当第2四半期連結累計期間は当期初から続く好調な荷動きにより、畜産品や冷凍食品を中心に高い在庫水準を維持し、計画通りに推移しました。食品販売事業は、一部の畜産品が相場下落により損失を計上しましたが、適正な在庫水準による堅実な販売に取り組んだこと、および連結子会社㈱アライアンスシーフーズの海外事業が軌道に乗ってきたことにより、全体の収益は回復しております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高75,572百万円(前期比0.8%増)、営業利益2,853百万円(前期比56.5%増)、経常利益3,082百万円(前期比66.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,984百万円(前期比75.8%増)となりました。なお上記業績数値は、第2四半期連結累計期間における売上高および営業利益、経常利益の過去最高額となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

## (冷蔵倉庫事業)

当第2四半期連結累計期間は、平成26年9月期から順次稼働した4つの物流センターのフル稼働や、中期経営計画の主要施策である「全国ネットワーク化」の推進において、戦略的な広域営業を進展させ売上高が増加したこと、および物流センターの立ち上がりに伴う臨時経費が前期比で減少したことなどによって増収増益となりました。また、荷動きにつきましては、前年同期は急激な円安のため低調でしたが、当期初から順調に推移しました。

貨物取扱量の状況は、入庫取扱量は約38千トンの増加(前期比6.4%増)、出庫取扱量は約41千トンの増加(前期比6.8%増)、平均保管在庫量は約165千トンの増加(前期比10.2%増)となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高は12,663百万円(前期比6.0%増)、営業利益は3,263百万円(前期比28.5%増)となりました。

## (食品販売事業)

当第2四半期連結累計期間は、当期初から緩やかな円高傾向で推移したため、輸入商材の収益環境は好転し、当セグメント全体の収益は回復基調となりました。

水産品は、増収増益となりました。主要商材では、昨年8月に包括的業務提携を行ったHofseth International ASとの間のアトランティックサーモン事業が順調に伸展し、鮭鱒類が大幅な増収増益となりました。エビも回転率重視の商売を徹底し利益率の改善により増収増益、主力輸出商材であるホタテは天候不良の影響を受け取扱量を大きく減少させて減収減益、サバは輸出用の小型サバが中心となり取扱量は増加したものの利益率が低く増収減益となりました。

畜産品は、減収減益となりました。チキンは国内流通在庫が過剰となり相場が大きく下落して減収減益、ポークは取扱量を抑え適正在庫で回転させて減収ながらも増益、ビーフは販路拡大により増収増益となりました。

農産品は、増収増益となりました。主力商材の馬鈴薯の販売が好調であり取扱量を増加させて増収増益、玉葱も豊作のため単価は下落したものの取扱量を増加させ増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高は62,879百万円(前期比0.2%減)、営業利益は678百万円(前期比157.4%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9,569百万円増加し、128,471百万円となりました。これは主に有形固定資産が6,607百万円、商品が5,284百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が2,914百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ8,425百万円増加し、65,004百万円となりました。これは主に借入金が増加した9,643百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,143百万円増加し、63,466百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)の残高は、前連結会計年度末に比べ767百万円減少の3,120百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、502百万円の資金の増加(前年同四半期は1,688百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益3,082百万円及び売上債権の減少額2,893百万円などによる資金の増加と、たな卸資産の増加額5,280百万円などの資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10,646百万円の資金の減少(前年同四半期は6,549百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出9,008百万円及び投資有価証券の取得による支出1,537百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,411百万円の資金の増加(前年同四半期は8,140百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額10,000百万円による資金の増加と、配当金の支払額521百万円などによる資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、「平成27年9月期 決算短信」(平成27年11月13日付)で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,887	3,120
受取手形及び売掛金	20,531	17,616
商品	18,718	24,003
繰延税金資産	539	324
その他	2,466	2,664
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	46,128	47,716
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	33,169	34,277
機械装置及び運搬具(純額)	6,496	6,379
土地	19,366	25,852
リース資産(純額)	283	262
建設仮勘定	2,695	1,767
その他(純額)	745	825
有形固定資産合計	62,756	69,364
<b>無形固定資産</b>		
のれん	483	430
その他	1,729	1,725
無形固定資産合計	2,212	2,156
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	6,859	8,240
長期貸付金	56	26
その他	1,001	1,080
貸倒引当金	△113	△113
投資その他の資産合計	7,804	9,234
固定資産合計	72,773	80,754
資産合計	118,901	128,471

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,028	5,413
短期借入金	16,331	20,494
1年内返済予定の長期借入金	3,298	4,022
リース債務	102	87
未払法人税等	844	983
賞与引当金	659	503
役員賞与引当金	27	11
その他	3,877	3,441
流動負債合計	31,171	34,958
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,000	6,999
長期借入金	16,160	20,917
リース債務	144	143
繰延税金負債	542	483
役員報酬BIP信託引当金	44	63
退職給付に係る負債	947	929
資産除去債務	105	105
その他	464	403
固定負債合計	25,408	30,046
負債合計	56,579	65,004
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,065	11,066
資本剰余金	11,132	11,133
利益剰余金	37,575	39,039
自己株式	△546	△538
株主資本合計	59,228	60,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,908	1,836
繰延ヘッジ損益	0	17
為替換算調整勘定	319	101
退職給付に係る調整累計額	△125	△110
その他の包括利益累計額合計	2,102	1,846
非支配株主持分	991	919
純資産合計	62,322	63,466
負債純資産合計	118,901	128,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	74,983	75,572
売上原価	69,324	69,045
売上総利益	5,658	6,527
販売費及び一般管理費	3,834	3,674
営業利益	1,823	2,853
営業外収益		
受取利息	16	23
受取配当金	38	45
保険配当金	31	36
受取奨励金	31	—
固定資産売却益	0	—
受取和解金	—	85
補助金収入	—	87
その他	119	182
営業外収益合計	237	458
営業外費用		
支払利息	182	194
固定資産除売却損	7	—
その他	14	34
営業外費用合計	204	229
経常利益	1,856	3,082
税金等調整前四半期純利益	1,856	3,082
法人税、住民税及び事業税	671	868
法人税等調整額	39	225
法人税等合計	710	1,094
四半期純利益	1,146	1,987
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,129	1,984



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	1,146	1,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	871	△71
繰延ヘッジ損益	8	17
為替換算調整勘定	562	△291
退職給付に係る調整額	13	15
その他の包括利益合計	1,455	△330
四半期包括利益	2,601	1,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,442	1,728
非支配株主に係る四半期包括利益	159	△71

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,856	3,082
減価償却費	2,184	2,053
のれん償却額	58	52
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△139	△155
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	△16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△390	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13	△15
役員報酬B I P 信託引当金の増減額 (△は減少)	—	19
受取利息及び受取配当金	△54	△68
支払利息	182	194
売上債権の増減額 (△は増加)	644	2,893
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,629	△5,280
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,862	△615
未払費用の増減額 (△は減少)	529	△293
その他	△217	△501
小計	△870	1,347
利息及び配当金の受取額	49	69
利息の支払額	△172	△196
法人税等の支払額	△696	△717
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,688	502
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,702	△9,008
有形固定資産の売却による収入	1	3
投資有価証券の取得による支出	△3	△1,537
投資有価証券の売却による収入	—	7
貸付けによる支出	△859	△223
貸付金の回収による収入	48	159
その他	△33	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,549	△10,646
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,000	4,242
長期借入れによる収入	3,246	7,564
長期借入金の返済による支出	△1,523	△1,806
自己株式の処分による収入	299	—
自己株式の取得による支出	△300	△1
配当金の支払額	△517	△521
その他	△64	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,140	9,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	137	△35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39	△767
現金及び現金同等物の期首残高	4,431	3,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,471	3,120

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,949	63,017	16	74,983	—	74,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,011	—	22	1,033	△1,033	—
計	12,960	63,017	38	76,016	△1,033	74,983
セグメント利益	2,539	263	19	2,822	△998	1,823

(注) 1. セグメント利益の調整額△998百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,663	62,879	29	75,572	—	75,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	876	—	21	898	△898	—
計	13,540	62,879	51	76,471	△898	75,572
セグメント利益	3,263	678	16	3,958	△1,105	2,853

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,105百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。